

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 技術科 1年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：技術・家庭（東京書籍出版） 年間授業時数：35時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	技術分野のガイダンス	2	技術科がどういった内容を扱う教科かイメージできるようにする。	・配布されたプリントの問いに答える。	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアなどを理解している。 持続可能な社会を存続させるために、技術の果たす役割を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を参考に、身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べさせ、技術分野の学習への関心を高める。 「技術の見方・考え方」とは、「生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること」であることを押さえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	情報	1	コンピュータの基本的な使い方がわかる。キーボードを使ったデータ入力ができる。	クロムブックの電源オン・オフのやり方。データの保存の仕方。文書入力ソフトを使い、キーボードで文章の入力をする。 授業で映像や資料の提示のためにICTを活用する。	<ul style="list-style-type: none"> タイピングの基礎を身につける。作ったデータを保存できる。 データ保存の仕組みが理解できる。およそのキーの配列がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの基本操作に慣れ、日常生活に生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に作業に取り組む。 製作活動に意欲的に取り組む。 プリントやノートをしっかりととる。
	材料と加工の技術による問題解決解決策の構想(1) 製作品の設計技術のとびら 製図	2	キャビネット図、等角図のかきかたの学習を通して製図の基礎を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 製図のルールを学ぶ。 配布プリントに実際に製図をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 製図のルールを理解する。 キャビネット図、等角図の製図がかかるようになる。 		
	生物育成の技術とは何だろう	1	<ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術は、食料の生産だけではなく、材料・燃料の生産、健康・医療への利用、自然環境の保全などにも用いられていることを知る。 生物育成の技術について、作物、動物、水産生物の育成とそれぞれ関連づけて考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術の目的を知る。 <ul style="list-style-type: none"> 食料の生産 材料・燃料の生産 健康・医療など 自然環境の保全 生物育成の技術についてまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> 育成環境を調節する技術 生物の成長を管理する技術 生物の特徴を改良する技術 どのような技術が用いられているか調べ、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物を育てる技術の目的について理解している。 		
	作物の成長を管理する技術	2	<ul style="list-style-type: none"> 健康に育成するために、生育に適した時期や生育状況を見ながら、目的に応じて作物やその周辺に手を加えることの必要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作物の成長を管理する技術について調べる。 作物の成長を管理する技術とその目的についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作物の成長を管理する技術について理解している。 		

				(例) ・種まき…生育場所の提供 ・間引き…通風・日当たり改善, 苗の選択 ・摘芽…栄養管理 ・追肥…栄養管理, 品質向上, 収量増大 など			
	生物育成の技術の工夫を読み取る	2		・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・食料の生産における問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。		・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・主体的に生物育成の技術について考え, 理解しようとしている。
	身の回りの材料と加工の技術	1	身の回りの製品に使われている材料は, 製品の強度や耐久性, 安全性, 費用, 環境への負荷などに考慮して選ばれていることに気付かせる。	・身の回りの製品を見て, なぜその材料が使われているかを考える。 ・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術について調べる。	身の回りの製品に活かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。		
	材料に適した加工方法	1	・工具や機器を加工の特性や方法に応じて分類する。 ・材料と目的に応じた工具や機器を選択する。 ・工具や機器を安全に使用方法や技術室の安全のための決まりを調べる。 ・簡単な加工体験を行う。	・技術室にある工具や機器を調べさせ, 加工方法によって選択する必要があることを知らせるとともに, 作業の安全に注意を促す。 ・加工体験を行うことで, 本題材(材料と加工の技術)による問題解決)における製作品の完成度を高めることにもつながる。	・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 ・工具や機器を適切に選択し, 製作品を製作できる技能を身に付けている。		

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8 ・ 9 ・ 10 ・ 11	木材の特性	2	・身の回りの製品は, 使用目的や使用条件に合わせて, 最適な材料が選ばれていることに気付かせる。	・木材の特性について調べる。 ・木材がどのような製品に利用されているかをまとめる。 ・見本を準備し, 実際に触らせ, 特性を知る。	特性を生かした利用方法について理解している。		
	材料に適した加工方法	2	・工具や機器を加工の特性や方法に応じて分類する。 ・材料と目的に応じた工具や機器を選択する。 ・工具や機器を安全に使用方法や技術室の安全のための決まりを調べる。 ・簡単な加工体験を行う。	・技術室にある工具や機器を調べさせ, 加工方法によって選択する必要があることを知らせるとともに, 作業の安全に注意を促す。 ・加工体験を行うことで, 本題材(材料と加工の技術)による問題解決)における製作品の完成度を高めることにもつながる。	・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 ・工具や機器を適切に選択し, 製作品を製作できる技能を身に付けている。		
	材料と加工の技術の工夫を読み取る	2	・身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気付かせる。 ・使用者の視点だけでなく, 開発者の視点でも考えられる。	・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・身近な製品の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。	・身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気付くことができる。	・主体的に材料と加工の技術について考え, 理解しようとしている。	

						・材料と加工の技術に込められた工夫点について考えている。	
	作品製作 ・けがき・切断	3	・身に付けた知識を使って、作品を製作する。	製作課題「ミニタンス」の製作。 ・けがき ・切断	・これまでの知識を生かして、製作品がよりよいものになるよう取り組んでいる。	・材料と加工の技術の最適化について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
	作品製作 ・釘打ち・仕上げ	6	・身に付けた知識を使って、作品を製作する。	製作課題「ミニタンス」の製作。 ・釘打ち ・仕上げ	・これまでの知識を生かして、製作品がよりよいものになるよう取り組んでいる。	・材料と加工の技術の最適化について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2 1 2 3	作品製作	6	・身に付けた知識を使って、作品を製作する。	製作課題「テープホルダー」の製作。 ・けがき ・切断 ・切削 ・接合 ・仕上げ	・これまでの知識を生かして、製作品がよりよいものになるよう取り組んでいる。	・材料と加工の技術の最適化について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
	これからの材料と加工の技術	2	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、技術を評価し、選択、管理・運用、改良・応用していくことの大切さについて考えることができる。	・持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える。		・これからの材料と加工の技術について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 技術科 2年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：技術・家庭（東京書籍出版） 年間授業時数：35時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	4	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの製品のエネルギー変換の流れを考えさせる。 身の回りの製品のエネルギー損失に気付かせる。 エネルギー変換効率を高めることは、環境への負荷を減らすことにつながることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べる。 エネルギー変換効率について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 		
	エネルギー変換の技術とは何だろう						
	発電の仕組みと特徴	2	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな発電方式の特徴，エネルギー変換効率，二酸化炭素排出量，発電にかかる費用などを比較しながら，適切な発電方法について自分なりに考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電の仕組みと特徴についてまとめる。 さまざまな発電方法のプラス面，マイナス面について調べ，適切な発電構成割合について自分なりに考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電の仕組みと特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 	
	作品製作 ・けがき・切断 ・ねじ切り・仕上げ	4	<ul style="list-style-type: none"> 身に付けた知識を使って、作品を製作し、3年時の金属加工につながる製作だと伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作課題「ペン立て」の製作。 けがき ・切断・ねじ切り・仕上げ 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの知識を生かして、製作品がよりよいものになるよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年時の金属加工を想定して作製に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
はんだ付け練習	2	<ul style="list-style-type: none"> はんだ付けの基本的な原理を理解し、安全にはんだ付けをできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習基盤を使用したはんだ付けの練習。 	<ul style="list-style-type: none"> はんだ付けの基本的な原理を理解している。 安全に作業することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> より効率的にはんだ付けができるように工夫しているか。 		

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	ラジオの組み立て 電気機器を安全に使用するための技術	6	<ul style="list-style-type: none"> ラジオの製作を通して、電気の安全な使い方や危険について理解する。 電気機器の構造や安全に関する表示を観察して、その意味を調べさせ、適切な使用方法について理解する。 電気による事故を防ぐ方法が具体的にわかる。 漏電・感電の危険性を理解し、電気機器を安全に使用するための技術の工夫がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作キットであるラジオの組み立て。 電気を安全に使うための技術の工夫について調べ，まとめる。 [・漏電 ・感電 電気機器の安全な使い方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な工具を理解し、正しく使用することができる。 電気機器の安全な使い方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作キットの構造を理解することで日常使っている電気がどのように流れているかを考える。 電気による事故を防ぐ方法について考えている。 	

	エネルギー変換の技術の最適化	3	<ul style="list-style-type: none"> 社会におけるエネルギー変換の技術は、さまざまな制約条件の基で折り合いを付け、効果が最も目的に合ったものになるように工夫されていることに気付く。 エネルギー変換の技術は、生活や社会を豊かにする光の側面がある一方で、環境への負荷や事故の危険性などの影の側面があることも理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 社会からの要求 安全性 環境への負荷 経済性 エネルギー変換の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換の技術の最適化について考えている。 	
	これからのエネルギー変換の技術	2	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、技術を評価し、選択、管理・運用、改良・応用していくことの大切さについて考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構築のために、これからのエネルギー変換の技術について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> これからのエネルギー変換の技術について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
	・電子回路の設計	4	<ul style="list-style-type: none"> 直列回路の計算が出来るようになる。 並列回路の計算が出来るようになる。 直列接続回路の計算が出来るようになる。 計算した数値を元に回路を製作できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークを使用し直列回路の計算をする。 ワークを使用し並列回路の計算をする。 ワークを使用し直列並列回路の計算をする。 クロムブックを使用しLEDのスペックを調べ、それを元に回路を設計する。 	<ul style="list-style-type: none"> 直列回路の計算が出来るようになったか。 並列回路の計算が出来るようになったか。 直列接続回路の計算が出来るようになったか。 計算した数値を元に回路を製作できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算した数値を元に回路を製作できたか。 	

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 ・ 2 ・ 3	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう	3	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか理解する。 双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツに利用されているメディアの例とその特徴を整理させる。 情報処理の手順を表現する図として、アクティビティ図やフローチャートについて説明する。 授業で映像や資料の提示のためにICTを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> データの流れて見えていくことで、普段使っているソフトでどう情報が処理されているかを考える。 	
	・双方向性ソフト	3	<ul style="list-style-type: none"> ソフトを利用して双方向コンテンツを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれ立場を入れ替えて、データの流を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> データの流れて見えていくことで、普段使っているソフトでどう情報が処理されているかを考える。 	

	<p>3 編エネルギー変換の技術 1 章エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ⑤電気機器を安全に使用するための技術</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電気機器の安全な使い方について理解する。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークを使いながら機器の安全な使いかを学ぶ。 ・安全に危機を使用するにはどのようなことをすれば良いのかをクロムブックで調べながらグループで考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気機器の安全な使い方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気による事故を防ぐ方法について考えることができる。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に危機を使用するにはどのようなことをすれば良いのかを自分の生活に当てはめて考えることができるか。
--	---	----------	--	---	---	--	---

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 技術科 3年年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：技術・家庭科（東京書籍出版） 年間授業時数：17.5時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	4編1章 情報の技術 1身の回りの情報技術	1	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会，産業のさまざまな場面でコンピュータなどの情報の技術がどのように利用されているかが分かる。 コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアの違いとその特徴が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家や学校，工場などの場면을例示して，コンピュータなどの情報の技術が利用されていることを確認する。 身の回りにあるコンピュータの種類や形状，機能などをまとめさせる。 アナログ情報とデジタル情報の違いについて考えさせる。 情報の技術によって実現できることを挙げさせる。 小学校では，どのようなプログラミング体験を行ったか思い出させる。 授業で映像や資料の提示のためにICTを活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 		
5	4編1章 情報の技術 3情報のデジタル化	1	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを理解する。 画像をデジタル化する方法やデータ量との関係がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字情報のデジタル化を例にデジタル化の方法を確認させる。 画像のデジタル化を例に，デジタル化とデータ量について確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報のデジタル化の仕組み，デジタル化の方法とデータ量との関係を理解している。 		
6	4編1章 情報の技術 4情報通信ネットワークの仕組み	2	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの仕組みについてまとめる。 情報通信ネットワークを使って，情報をやりとりする仕組みについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や学校におけるLANを例に，情報通信ネットワークを構成するために必要な機器や接続できる情報機器について説明する。 電子メールやSNSなど身近な例を取り上げ，情報通信ネットワークを使って，情報をやりとりする仕組みについて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの構成について理解している。 情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。 		
7	実習 キーボードを使ったタイピング	2	<ul style="list-style-type: none"> キーボードの配列を覚え，時間内に一定量の文字入力ができる。 キーに合わせて，適切な指でタイピングができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字入力ソフト「ワード」を使ってのタイピング練習。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間内に一定量の文字入力ができる。 		

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	1編 材料と加工の技術 2材料の特性と加工方法 技術のとびら金属の特性	1	<ul style="list-style-type: none"> 金属の特性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒板への板書と動画を見ながら金属への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 金属の特性を理解しているか 		
10	「真鍮キーホルダー」製作 ・デザイン	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 金属の特性を考えながら「真鍮キーホルダー」のデザインをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークに自分が作りたい金ホルダーのデザインを金属の特性を考えながら記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 金属の特性を理解しているか 	<ul style="list-style-type: none"> 金属の特性を考えながらデザインができていないか 	<ul style="list-style-type: none"> 2年時の作業の反省を活かしながら作業できているか。

11 ・ 12	「真鍮キーホルダー」製作 ・切断 ・断面のやすり掛け	3	・金属の特性を考えながら、真鍮板を切断し、断面をやすり掛けする。	・金属の特性を考えながら、「弓のこ」「電動のこぎり」「鉄ヤスリ」を使用し真鍮板を切断し、断面をやすり掛けする。	・金属の特性を理解しデザインに沿った形に切断できているか	・金属の特性を理解し、道具を選ぶことが出来るか。 ・時間を見ながら活動することが出来るか。	
	「真鍮キーホルダー」製作 ・表面の研磨	2	・金属の特性を考えながら、真鍮板の表面を鏡面仕上げ出来るようになる。	・金属の特性を考えながら、「耐水ペーパー」「ピカール」を使用し真鍮板の表面を鏡面仕上げする。	・金属の特性を理解し作業に取り組んでいるか	・自分の作品の状況に合わせて適切なヤスリを選ぶことが出来るか。	・鏡面に仕上げられるようにこだわりを持って作業に取り組んでいるか。

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 ・ 2 ・ 3	4 編情報の技術 3 章計測・制御のプログラミングによる問題解決 1 計測・制御システムとは	2	・身の回りにある計測・制御システムを理解できる。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割がわかる。 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れがわかる。	・計測・制御システムには、コンピュータのほかに、センサ、仕事を行う部分、インタフェースが必要なことを知らせる。 ・自動運転技術などの計測・制御システムを例に、情報処理の手順を考えさせる。 ・社会からの要求、使用者の安全、利便性などの視点から実現したい自動化、システム化を考えさせる。	・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	
	4 編情報の技術 3 章計測・制御のプログラミングによる問題解決 4 計測・制御システムのプログラミング制作	2	・計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つけられる。 ・発見した問題を解決するための課題を設定できる。	・副教材「アクティくん」を使用しプログラミングによる問題解決をしていく。	・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	・班員と協力しながら問題解決のプログラミングをすることが出来るか。